



留学生と語り合う No. 92

RKK ニュース (2023 年夏号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

第 14 回通常総会 & 講演会開かれる

2023 年 5 月 5 日に神奈川県民センターで RKK 通常総会と講演会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染が収束傾向になった為、3 年ぶりの対面形式の総会でした。会員の皆様のご協力により、議案が承認され、無事、総会を終えることができました。

総会終了後には、久しぶりの対面の集いを機に、横浜国立大学の半沢千絵美准教授に最近の留学生動向などについて講演をいただきました。RKK の会員 32 人が聴講されました。

2023 年度スローガン:

「RKK の活動理念をもとに、元気に再出発！」

活動指針:

RKK の目的:

留学生が日本での留学を終えたとき、「日本に来てよかった」と回想してもらえるように、出来る範囲で留学生を支援することです。このことにより、親日家が増えることを期待します。

RKK のモットー:

みんなで、少しずつ会の運営に参加しながら、留学生がハッピーになるように、出来る範囲で、楽しくやしましょう。

「3 つの絆」作りを大切にします:

会員同士の絆、会員と留学生の絆、留学生同士の絆
重点活動目標:

- ・正会員、登録留学生のリクルート活動を全員参加で推進
- ・あらたな発想、創意工夫で活動グループの各種イベントを展開
- ・きめ細かなマッチングで 1 対 1 の交流促進
- ・各地区交流会間の懇談会や共同イベントの実施
- ・日本語支援情報交換会や学習会など小グループ活動の推進
- ・RKK ウェブサイト、RKK ホームページの有効活用

Holding the 14th annual general meeting and the lecture

The RKK annual general meeting and the lecture were held at the Kanagawa Prefectural Center on May 5. It was the first face-to-face meeting in three years because the COVID-19 situation is improving. The proposals were approved by RKK members without any problems.

After the meeting, Yokohama National University Associate Professor Chiemi Hanzawa gave a lecture on recent trends of international students and so on, gathering 32 RKK members.

The slogan for FY2023

Is “Based on the mission of RKK, make a fresh start cheerfully!”

Activity Guidelines:

RKK’s purpose; We support international students as much as we can so that they could feel glad to come to Japan after finishing their studies. Moreover, we expect to make more fans of Japan. RKK’s motto; Let’s enjoy ourselves as much as possible to make international students happy while every member participates in our operations in some way.

We value “three bonds”; among members, between members and international students, and among international students

Priority Activity Targets:

- ・ Promoting recruitment of new RKK members and international students by all members
- ・ Holding various group events with new ideas and creativities
- ・ Promotion of one-to-one exchanges based on detailed matching
- ・ Holding meetings and events between each area groups
- ・ Promoting small group activities such as information exchange meetings for Japanese support and study meetings
- ・ Effective use of RKK website and homepage

(Translated by Azusa Sugita)

2023年新年度に当って

理事長 深水 智明

このたびは会員皆様のご協力によって、総会にて議案を審議の上ご承認いただき、感謝申し上げます。これまでの活動の重しになっていたコロナ禍、まだ油断は禁物ですが、少しは荷が軽くなったように思われます。

つきましては、この機に改めてRKKの全体的な活動力を再度、充実させることが望ましく思われます。先の運営懇談会でのご意見のように、コロナ禍の影響等々による会員数の漸減、創立20年を過ぎて高齢化等もあるかと思われまます。そのために、新しい会員の加入が望まれます。しかし、このところの社会的環境の変化（例えば、人手不足や定年延長、高齢化等々）もあり、対応は容易ではないようです。聞くところでは、人手不足に悩んでいるボランティア団体も多いようです。

総会でもお願いしましたが、新年度には市民の皆さんにRKKをPRし、仲間を増やしたいものです。そのために、新しくRKK紹介のリーフレット、RKK Webも用意されましたし、また、魅力豊かで、楽しみ深い活動へのチャレンジもRKKのアナウンスになるでしょう。それは会員皆様にもやり甲斐を生むことが期待できます。

一方、留学生もコロナ禍のピークが過ぎ、戻りつつあります。よって、留学生へのアピールも必要です。留学生は、政府の政策によりその受け入れは増加の方向にあります。RKKがそれに対応できる支援・交流力を備えたいものです。そして、日本で勉学に励む留学生への支援・交流を通じて、将来、日本と世界との友好に微力ながらも益することと理解しております。

私共はボランティア活動です。会員皆様の自由な発想で活動を進め、その活動の魅力をお知り合いの方々、市民皆様へアピールをお願いしたいと思えます。

留学生からのたより

お花見会に参加して感動したこと

横浜国立大学 孫 丞彦(中国)

3月末に私はお花見会に参加しました。これは私が初めて日本のやり方で花見をする機会であり、また、初めて一人で十人近い日本の先生方と接する機会でもありました。そこで経験した数々の感動的な出来事は、私にとって非常に心に残るものでした。その日、昼時、先生たちは桜の木がたくさん並ぶ高い丘の斜面の一角に大きなシートを敷きました。天候は曇りでしたが、曇り空が桜を包み込むなか、切なさを含んだ美しさが心に染み渡りました。特に風が吹き立つたびに、舞い散る桜の花びらが儚く舞い落ち、ちよ



うどコップに舞い落ちると、その瞬間にみんなが喜びのため息を漏らし、その美しさに胸を打たれました。場にいる先生方はほとんど初めてお会いする方々でしたが、みなさんが熱心に話しかけてくださり、駅まで迎えに来てくださったりなど、本当に感動しました。また、みなさんは用意した食べ物と飲み物を持ち寄り、お互いに分け合いました。ただし、私は日本のお花見では食べ物を用意する習慣があることを知らず、恐縮ですが、事前に美味しいものを用意していませんでしたが、先生たちは親切にお料理を分けてくださいました。そして、みなさんと中国旅行や中国語の学習などについて話し合いました。特に、中国の古詩「静夜思」に対する愛を表明する先生もいらっしゃいました。私は日本の伝統文化の美しさを体験することができる一方で、日本の先生方が中国の伝統文化の美を楽しむことができるのを見て、とても感動しました。

当時、私は卒業後に日本で働くか、それとも中国に帰るかを考えていましたが、このお花見会を通じて、その素晴らしさと感動によって、私は日本での生活を続けることを決意し、日本での就職活動を始めました。このイベントに参加できたことを心から感謝しており、私の次の人生の方向に影響を与えました。

未来、桜が舞い散る春の日々に、私は学生時代最後の春に経験した、この一期一会を思い出すことでしよう。

以上

アニメの聖地巡礼

横浜国立大学 朱 皓愷 (中国)



朱皓愷 (シュ コウガイ) と申します、中国の出身です。日本へ来る前に中国の大学の専門は日本語です、実際に日本語を勉強するきっかけはアニメに興味深いからです。日本へ来たら、もうすでにアニメに関するイベントをいろいろ参加しました。例えばコミケとかライブとか、この中で1番印象を残るのはアニメの聖地巡礼です。

実際に、今回日本の大学院に進学するによって、日本へ来るのはもうすでに2度目です。前交換留学するとき、山梨県の大学に行ったことがあります、その当時山梨学という授業を履修しました、ちょうどその時山梨県を舞台としてのアニメ「ゆるキャン△」は大ヒットして、その時の授業も「ゆるキャン△」を紹介しました、「ゆるキャン△」は当時の山梨県

の旅行業に大きな影響をもたらす、アニメファンたちはアニメの中のシーンの場所は実際に訪れ、いわゆる聖地巡礼という行為です。当時始めて聖地巡礼を認識して、自分も実際に参加して、大学卒論のテーマも一度聖地巡礼のことを書くつもりです。

今回日本へ来たら、聖地巡礼の行為も続いています。主に横浜周辺を回っています。神奈川県を舞台としたアニメ非常に多いです、横浜は無論、鎌倉と江ノ島は舞台としてのアニメの数はほぼ東京以外一番多いところです。最近も鎌倉の紫陽花を見るときにもその辺りの聖地巡礼も行いました。聖地巡礼は自分の趣味もあり、旅行とともに、アニメキャラの距離を縮める、とても有意義な活動だと思います。

日本語支援 G

私の日本語支援

南地区 布津 甚大

私と RKK さんとは故 OB 池添さんのご縁で入会してスタート致しました。

実は私の息子がアメリカの大学に留学した際、クラスメイトにアクセントについて指摘され、ホームシックになった時アメリカ人のボランティアの人に御世話になり、すっかり立ち直り今やアメリカの大企業で活動している事を話した時、池添さんから私と一緒に留学生を御世話してあげましょと説得されて今日に至りました。

現在、私は多くの留学生と面接を行い多くの会員の方々とのマッチングを行っています。留学生とは雑談も交えて会話を中心に展開して行き、その間日本語の能力を判断しています。

又、留学生との面談では、学歴及び専門学部の確認、日本の大学の学部、卒業後の就職活動も含めて進路希望の確認を行い最後に我々に対して留学生の個別からの要望事項を確認して会員とのミスマッチにならない様、心がけています。

以上

地区からのたより

中央地区 畔取 孝

中央地区では、2023年度第1回中央地区交流会を6月20日（火）に新装となったかなファンクラブで開催しました。今回も開催前にみなさんから近況報告をいただいていますので、内容を一読してくることを前提にその他の話題を中心に交流を始めました。

その他の話題では、今年度の重点課題となっている日本語支援者を中心にした情報交換会（学習会）開催をテーマに意見交換をしました。まず、世話役（畔取）から、複数地区の会員による日本語支援の体験発表および最近の就活状況や日本語支援の課題の講演、その後に会員同士の情報交換といった構成（案）を考えている旨の説明がありました。メンバーからは、実施することについては概ね賛成との声がありましたが、具体的な方法では、体験発表者の選定が難しいこと、また体験発表よりもテーマ別ですすめたほうが交流しやすいのではといった意見が出されました。具体的な話しは今回が初めてですので、いただいたご意見を参考にして、今後もニーズ把握、実施に向けた内容の検討をすることになりました。

次回は9月19日（火）14時、かなファンクラブになります。試行錯誤をしながらですが、みなさんの参加しやすい交流会を目指しています。



ハイブリッド方式の交流会

公的施設においてコロナ禍での使用制限が少しずつ解除されてきたこともあり、地区交流会が対面で復活しています。この数年、Web会議ソフトという新しいICTツールの活用でインターネットを通じた会議への参加が頻繁に行われるようになり、RKKでは北地区がいち早くハイブリッド（対面の会場にPC等を持ち込んで留学生などがオンライン参加する）方式を実施しました。その後、東地区においても3月に続き、再度実施しましたので、その様子を簡単に報告します。

当初、6月の交流会は対面のみとして案内しましたが、地区会員にコロナウィルス濃厚接触者が出たため、急遽オンラインでの参加を認めることとし、ハイブリッドでの実施となりました。

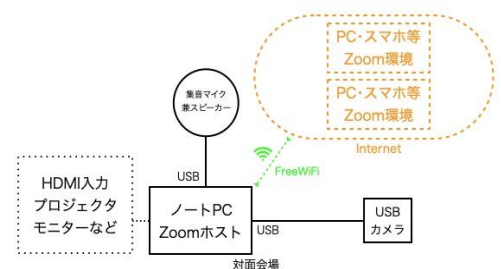
写真は会場風景ですが、右下に映るPC画面がWeb会議ソフトZoomの4画面です。個人アカウントにより事前に設定したミーティングを立ち上げ、参加予定者がアクセスしてきたら、随時に承認して入ってもらいます。4画面の右上は写真の枠外にあるホワイトボードに小型カメラを設置して、会場風景がオンライン参加者にも一目で分かるようにしています。

昨年度ICT委員会の予算で購入した集音マイク（兼拡声スピーカー）を、テーブルの中央に置いた椅子の上に設置して対面会議の音を集音し、ネットを通じてオンライン参加者に届けます。逆にオンライン参加者の声は中央のスピーカーから出る仕組みです。音声グループ発振しないように会場でZoomを使う場合は接続用のHOST PCを除き、音声“ミュート”にしておきます。

この時点で、写真撮影者を含む8名の対面参加者と2名のオンライン参加者が自由に発言・傍聴できます。後は、PC画面に映ったオンライン参加者の映像を対面会場で共有できれば申し分ないのですが、HDMI入力のプロジェクタやモニターなどを別に用意する必要があります。

マスクを通した発言はやや聞きづらかった感想もありましたが、今後の会議でも会場参加できない“特段”の理由があるような場合は、救済措置としてICT機器を使った参加も受け入れることが可能であるという一例です。もちろん、留学生が気軽に参加できるような仕掛けとしても十分機能するでしょう。

東地区 宮地 明男



外国語学習 G

中国語講座（番外編）

外国語学習 G（中国語）畔取 孝

中国語は漢字を通して学べるため、文章の意味が分かりやすいとよく言われます。しかし、これが落とし穴なのです。中国の漢字と同じような日本の漢字でも意味が全く違うものがあり、混乱することがよくあります。今回は、そのような事例をご紹介します。

まず、手紙（シヨウジ）です。すぐに手紙（テガミ）を思い出しますが、紙は紙でもトイレットペーパーなのです。次は、走（ソウ）です。中国語の意味は「歩く」ですが、何度も「走る」と勘違いをした記憶があります。次は愛人（アイリン）です。日本語の意味は「愛人（アイジン）」ですが、中国語では「奥さん」になります。中国の人に「こちらは私の愛人です」と紹介されるとびっくりしますね。

突然ですが、皆さんに問題を出しますので、トライしてみてください。

1. 小心（シヤウシン）の意味は、次の①、②のどちら？ ①小心者 ②気をつけて
2. 東西（トウシ）は？ ①東（ヒガシ）と西（ニシ） ②品物（シモノ）
3. 猪肉（スユウ）は？ ①猪（イノシ）の肉 ②豚（ブタ）の肉
4. 花子（ハナコ）は？ ①名前の花子（ハナコ）さん ②乞食（コジキ）
5. 老婆（ウリン）は？ ①お婆さん ②奥さん
6. 黄瓜（ワウガ）は？ ①黄色い瓜（ウリ） ②キュウリ

どうですか、すべて分かりましたか？（正解はすべて②です）

（注）中国の漢字は簡体字で、（ ）内の発音もピンイン・四声で表します。正確ではありませんが、便宜上日本の漢字、カタカナで表記しました。

ベトナム語講座受講記

西地区 下村 斉明



2021年9月からRKKでのベトナム語講座が始まり、約1年半が経過した。

先生は横浜国立大学の大学院生で Phung Thi Xuan Huong さんで、我々が楽しく学習できるような色々工夫して熱心に教えて下さる。が、しかし、老化の進んだ我が頭にはなかなかハードで、四六時中テキストや前回の学習資料と首っ引きで、先生に指されると汗がジットと出てきて、答えるのに時間がかかる。先生は褒め上手で、「いいです。上手になっています。」と言って下さるので、こちらも、「そうかな」と思い、つついその気になる。また、先生が工夫して作成される独自教材は毎回授業終了後にメールで送付して下さるので、復習にも役立っている。丁度コロナ下での開講となったため、ZOOMでの授業になったが、我々が日本語授業を行う際にも活用できるようなツールも使われる上、授業

の前後・合間にはビデオを使ってベトナムの歌・文化・風景等の紹介をして下さるので、先生の授業ぶりを目の当たりにするだけで次の授業が待ち遠しくなる。

同好の士は、集まれ~!!!

社会見学 G

第76回社会見学会に参加して

東地区 野川 博之

鬱陶しい梅雨の晴れ間に恵まれた6月17日午前10時半、世田谷線宮の坂駅に集合、まず豪徳寺を目指した。

恐らくはSNSの発達によってであろう、招き猫発祥の地として知られる同寺には、外国、とりわけ中国系とおぼしい参拝客も少なくなく、招き猫を祀る堂宇（招福殿）には、そうした人々がひしめき合っていた。よく見ると、この寺の招き猫は小判を手にしていない。お金でなくて良き御縁を与えるからなのだという。また、この寺には非業の死を遂げた井伊直弼の墓もあり、井伊家歴代の藩主の墓とともに広大な井伊家墓地の一角に眠っている。その緑豊かな景観は、まるでどこかの深山幽谷の中にいるかのようだった。再び世田谷線に乗り、三軒茶屋をへて、

今度は二子玉川へ。昼食は同地の磯丸水産で摂った。食後、今日二つ目の見学先である玉川大師へ。正式名称を玉眞院というこの寺は、本堂の地下に西国三十三カ所や四国八十八カ所の霊場になぞらえた礼拝所が設けられており、そこまでの道は漆黒の闇である。その闇の中に奉安された五鈷杵（ごこしょ）に触れることで、上の本堂に奉安された大日如来と御縁を結ぶのであるという。人によっては、多少の恐怖を催したかもしれない。外の暑さとは無縁の、ひんやりした地下仏殿には忘れ難い印象を覚えた。留学生とは語り合えなかったが、ベテラン会員の皆様と語り合うことができ、新入会員の私にとってはとても有意義なひとときであった。

第76回 社会見学 G コメント

梅雨の合間の晴天に恵まれ、見学会が実施できたことをうれしく思います。留学生との交流を期待して参加された方もいると思います。今回は留学生の参加がゼロの開催になってしまい残念でしたが、RKK 会員の皆様13名のご協力が無事に豪徳寺と玉川大師の見学をすることが出来ました。ありがとうございました。留学生にお願いしている見学会の感想文についても、今回は新入会員で見学会初参加の野川さんをお願いし、新鮮な感覚で感想文を寄稿していただきました。ただ、寺院を2か所選択したのは、留学生にはちょっと辛い選択だったかと反省しております。次回以降は、より留学生が興味を持てる組み合わせを検討していきたいと考えます。
(永作 記)

文化ファミリー G

明治学院大学 戸塚まつり

西地区 前田 六生

4年余りの行動制限が緩和され対面での活動が再開されるようになり、明学大「戸塚まつり」に「箏の演奏とワークショップ」企画で参加しました。5月27日(土)当日は、例年通り富志乃会員の全面的な協力を得て、生演奏に触れる貴重な時間を過ごす事が出来ました。OGの劉さんの「さくらさくら」を皮切りに、最後はTeresaさん(イタリア)が見事に演じ、録画映像では決して味わえない演奏者、聴衆との一体感を生み出していました。

続くワークショップには、Sunartoさん(インドネシア)が友人を連れて参加、「さくらさくら」に挑戦しました。メーを見ての参加で、念願の箏を弾くことが出来たと喜んでいました。

また先日は社会見学会に参加、「豪徳寺」に行きました。残念ながら留学生の参加はありませんでしたが、道中の四方山話も楽しく、お互いの息災を確認出来たことは良かったです。また、歴史や文化に詳しい新しい仲間を知ったほか、じっくり話すことの無かったメンバーの出身地、特技を知ることにもなり、実体験の良さを改めて感じました。蜂博士ともいべき仲間も持つRKKの幅広い人材も貴重です。蛇足ながら、集合場所の「宮の坂」は50年前の下宿の最寄り駅でしたので、記憶を頼りに探しました。苦労の末に昔のままの家を見つけた時には、懐かしさと共に貧乏学生を親切に遇して下さった大家さんご家族の御恩に感謝した次第です。

平塚七夕まつり

平塚七夕まつりが今年も昨年に続いて盛大に開催され、RKKでもコロナ禍の後、昨年に続いて参加しました。

- 1) 参加日 7月8日
- 2) 参加人数 39人(日本人17人、留学生とその家族9か国、22人)
- 3) 平塚市中央公民館



キャリア支援委員会

就職活動支援

松井 直子



就職活動をしている皆さんへ、「自分を表現する力を育てよう」最近の企業の採用の傾向として 30 秒から 1 分の自己 PR 動画を提出させることが増えています。直接本人に会わなくても動画を通してほしいの本人の特徴をつかめますし、採用する側にとっても有利な点があると思われれます。

30 秒で話せる内容は文字数で 250~300 字ほどです。私はここで自分を PR する文を書く力を問われていると感じます。書くテーマが決まったとしても内容はオリジナルでなければ意味がありません。いま注目されている「ChatGPT」にヒントをもらったとしても、自分を表現できるのは自分だけという自負を持って取り組んで欲しいです。

ポイントとなるのは作文力。この力をつけるのは日ごろの努力の積み重ねしかありません。1 日あったこと、そこから得た事、考えた事を日記風を書いてみることから始めたらどうでしょうか？300 字程度という文字制限の中で自己を表す力をつける事は、対面の面接で聞かれた時にも慌てないで自分を表現ができ、自信につながると思います。

企業は最終的には「物事を考え意思決定ができ、自分で責任がとれて、自己肯定感にあふれた人材」を求めていると聞きました。とっっても欲張りです。

ところで「新入社員生活を表す漢字」でもっとも多かったのは「楽」（マイナビ調査結果）でした。私が今までの人生の中で一番輝いていたのは就職して 1 年目の時、「ワクワク感」にあふれていました。自分でお金を稼げることがこんなに楽しいものかとも思いました。就活をされているみなさんはこれを夢みてがんばってくださいね。

RKK のキャリア支援委員会では“オンラインサロン”を通して就職活動をされている皆さんの支援をしています。是非みなさまのご参加をお待ちしております。

以上

ICT 推進委員会

「対話型 AI」について

ICT 推進委員会

今年になってから、メディアによって ChatGPT をはじめとして対話型 AI が紹介されています。採用の可否についても多くの議論がなされ始めており、まだまだ進化の途中だと思えますが、数年後には世の中の評価も整理されるのではないかと思います。新しい技術なので、興味のある方はどのように活用できるかを検討されることをおすすめします。以下にその活用方法を紹介します。

1) 主たる対話型 AI (GPT: Generative Pretrained Transformer) :

事前学習モデルとして、WEB 上の大量のデータを学習し、ある程度賢い状態になったものです。入力された言葉（プロンプト：質問）に対して最も確率の高い言葉を回答します。

ChatGPT (OpenAI) : 無料版の GPT3.5 版で一般の方が利用可能です。(PLUS 版は有料)

新しい Bing (Microsoft) : GPT と web 検索を連動させた対話型 AI サービスです。Windows を使用している方は利用できます。

BARD (Google) : 試験運用を開始した対話型 AI で、Gmail との連携も可能です。Google を既に利用している方は利用できます。

2) 対話型 AI の利用方法

上記 3 つの対話型 AI は、パソコンのブラウザ（Edge など）から検索欄にその名称を入力することで利用できます。(ChatGPT では電話番号やメールアドレスの入力が必要です。Bing および BARD はマイクロソフトアカウントや Google アカウントで利用できます。)

電話番号の入力をリスクと考える場合は、ChatGPT の使用は避ける方が良いでしょう。これは個人の判断になります。

多くのYouTube動画でも対話型AIの紹介がされていますので、ご自身に合ったものを選んで学習することをおすすめします。以下は参考例です：

ChatGPT: <https://www.youtube.com/watch?v=wWQYzVbguU>

BARD: <https://www.youtube.com/watch?v=tIGzvNc0Tc4>

Bing: <https://www.youtube.com/watch?v=Xzjyac4048s>

3) 対話型AIでできること

- ・文章作成： テーマやキーワードを与えれば、メールや報告書などの定番フォーマットの文章を作成できます。
- ・要約： 長い資料を適切なレベルに要約して依頼できます。文字数の制限も指定できます。
- ・企画書作成： アイデアや条件を提示すれば、企画書を作成してくれます。
- ・英語学習： 英語から日本語への翻訳が可能です。英語の先生になってくれと依頼すれば、独習機能も提供してくれます。
- ・その他： プログラミング学習、エクセルとの自動処理連携、ブレインストーミングなどが可能です。

質問の仕方に工夫をすると回答が変化するため、何度でもトライでき、より精緻な対応が可能です。ただし、正しい回答かどうかは使用者自身が判断する必要があり、間違った回答もあります。個人的な情報や秘密事項を質問することはおすすめしません。一般的な質問に対しては、WEB上の大量の情報を基に検討し回答してくれるようです。

現状の生成AIを使用する際には、応答結果に対して使用者がクリティカルリーディング（批判的読解）を行うことが必要不可欠です。対話型AIは情報を整理する手助けをする技術であり、アシスタント的な役割を果たすことができます。どのように活用されているかは留学生との会話の中で確認すると、活用のヒントが得られるかもしれません。

以上

留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話（Daily Conversation） ビジネス会話（Business Conversation）
- ・ 卒論、レポートの文書指導（Writing Japanese Theses & Reports）
- ・ 新聞／書籍等の読解（Reading Newspaper & Books）
- ・ 日本語能力試験(Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動（Job Hunting/ Entry sheets/Interviews）

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact：津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@yahoo.co.jp

Website：<https://sites.google.com/view/newrkk/>



RKKニュース作成への参加をお願いします。

RKKニュースを年4回発行しており、そのつど企画、原稿依頼、編集、校正、発行を行っています。編集で使うWordの利用法は毎回ほぼ同じで、難しいことはありません。編集作業の当番は年1回程度です。その他の作業は共同/分担で行っています。紙面作り、コミュニケーションに少しでも興味のある方、一緒にニュースを作りませんか。編集会議へのオブザーバー参加は大歓迎です。ご希望の方は下記までご連絡下さるようお願いいたします。いつも広報委員会にご協力を頂き有難うございます。

連絡先 e-mail：rkk1025office@yahoo.co.jp（広報委員会宛と記してください）

広報委員会

新入正会員の皆さま：よろしくおめでとうございます！

松崎憲資（泉区） 御代川義則（鎌倉市）（敬称略）

おもな活動（2023/5 から 2023/7 まで）

通常総会・理事会

- ◇5/5 午後、神奈川県民センター711号室にて、理事会と第14回通常総会を開催し、議案は承認された。本年度のスローガンは、「RKKの活動理念をもとに、元気に再出発！」
- 今回の総会は久しぶりの対面式で、総会終了後に、横国大の半沢先生による最近の留学生の動向等についての講演。RKKの会員32人が聴講。

スタッフミーティング

- ◇6/25に対面式の2023年度第1回スタッフミーティングを開催。新任スタッフも含め18人のスタッフが参加。2023年度新スタッフ体制の確認と本年度重点活動目標を踏まえてC&C（報告、連絡、相談）を実施。

活動グループ

- ◇日本語支援G：1対1の日本語学習支援を推進。秋のイベント、スピーチ大会の実施検討。
- ◇文化・ファミリー交流G：5/27、明学「戸塚まつり」で留学生と一緒に琴の演奏&ワークショップを実施。7/8 湘南七夕まつりに、留学生とその家族22人を含め総勢39人が参加。
- ◇外国語学習G：中国語講座（11人受講）とベトナム語講座（9人受講）がZoomでのクラスを継続。
- ◇社会見学G：3/29 NHK博物館、浜離宮見学会には留学生4人を含め23人参加。6/27 豪徳寺、玉川大師見学会には、13人が参加。

地区交流会

- ◇東地区：6/11にオンラインと対面のハイブリッド形式の交流会を実施。11人が参加。
- ◇西地区：4/23にオンライン交流会を実施。11人が参加。
- ◇南地区：5/14に6人が参加して対面式で交流会を実施。
- ◇北地区：4/22に対面式交流会を実施。10人参加。
- ◇中央地区：6/20に6人で対面式交流会を実施。
- ◇湘南地区：7/1に対面式交流会を実施。8人が参加。

委員会

- ◇会員委員会：新規入会員受入れ窓口、会員名簿更新管理、マッチングの推進。
- ◇広報委員会：RKKニュース92号の編集。PR用カラーリーフレット作成と配架推進。RKK HP, Websiteの更新。
- ◇キャリア支援委員会：「キャリア支援オンラインサロン」を実施。
- ◇企画委員会：サポートセンター会議室予約管理。新規企画の検討。
- ◇会計委員会：年会費の徴収、収支決算・事業計画予算作成。
- ◇ICT推進委員会：オンライン、ハイブリッド形式の支援。生成AI関連情報の調査。
- ◇事務室：事業計画・議案書作成・総会開催。NPO事業報告書の作成と提出。「しおり」の編集。

以上

正会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKKでは下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・日本語学習支援（留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします。）
- ・文化・ファミリー交流（フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます。）
- ・社会見学（工場見学、名所のハイキングに行きます。）
- ・外国語学習（留学生が先生となって中国語・ベトナム語を勉強します。）

RKKの活動に興味をお持ちの方はRKKのホームページをご覧ください。

RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、広報誌のページにあります。
「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。
掲載ホームページ : <http://rkk.world.cocan.jp/>

上記の URL を左クリック、または巻末の QR コードを読み取ってください。

広報委員会では皆様からの「会員のひろば」への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245-0008 横浜市泉区弥生台9-1-12-407 萩原 敦
Eメール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327
ウェブサイトのご案内



PCの場合にはnpo rkkで検索、または<http://rkk.world.cocan.jp/>をクリック、
スマホの場合には <https://sites.google.com/view/newrkk/> をクリック、
またはQRコードをご利用ください。

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKKニュース編集 : RKK広報委員会 2023年夏号担当 西岡誉富 31July 2023

無断転載をお断りします。